

7/26 (日) 7年ぶりの開催 あんばまつり



大杉神社前（下石崎）にて町指定無形民俗文化財である「あんばまつり」が行われ、五穀豊穡と無病息災を祈願しました。

この祭りは、数隻の船をつなぎ合わせて山車に見立てて涸沼に浮かべる、全国でも珍しい伝統行事です。令和2年からコロナ禍により中止しており、昨年は有志が実施。今回7年ぶりに地区主体で行われました。

訪れた人々は、水上ならではの幻想的な雰囲気と活気ある舞に魅了されていました。

7/28 (火) 色彩あざやかに 花と緑の環境美化コンクール

花と緑の環境美化コンクールは、花づくりを楽しみながら新たな交流機会の創出や、美しいまちづくりを推進することを目的に実施しています。今年度は町内の団体や学校など13団体にご参加いただき、花壇の配色・デザインや、花壇づくりを通じた地域との関わり等が審査され、下記の団体が入賞しました。

団体の部



●最優秀賞● 上雨ヶ谷女性会



●優秀賞● 金沢区民の会



●優秀賞● 矢頭いきいきクラブ



●優良賞● 五里峰区



●優良賞● みどりの風クラブ

学校の部



●最優秀賞● 茨城町立大戸小学校



●優秀賞● 茨城町立葵小学校



●優秀賞● 茨城町立長岡小学校

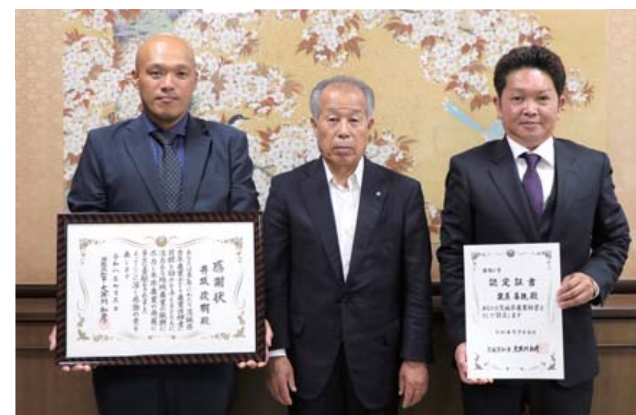


●優良賞● 茨城町立青葉小学校



●優良賞● 茨城町立明光中学校

7/3 (金) 新たな「農業経営士」が誕生 農業経営士の認定を町に報告



井坂さん

栗原さん

地域農業のリーダーを担う「農業経営士」の認定式が7月3日（金）にザ・ヒロサワ・シティ会館で行われ、本町から新たに栗原喜視さん（下座）が茨城県より認定を受けました。また、令和7年度をもって青年農業士を退任された、井坂俊樹さん（駒場）が県より感謝状を贈呈され、揃って町へ報告に訪れました。

「農業経営士」は、地域において優れた農業経営を実践し、地域農業の担い手として指導的役割を果たしている農業者を県が認定しており、本町では現在、栗原さんの他に6名の方が認定を受けています。

7/23 (木) 株式会社 関根電気 町と地域のために様々な寄附



株式会社 関根電気（関根敏政代表取締役、写真左）より、町へ100万円をはじめ、防犯カメラ3台、防犯灯50基、街路灯1基が寄附されました。

関根代表は長年にわたり、寄附金や防犯灯などの寄附活動を通じて、地域の安全対策や行政サービス向上等に多大な貢献をされています。

贈呈式で関根代表は「茨城町で生まれ育ち、事業を続けられているのは町と地域のおかげ。その恩返しをしたい。」と語られました。これに対し小林宣夫町長は「長年、多岐にわたるご支援のおかげで、明るいまちづくりができています。」と感謝の言葉を述べました。

6/23 (火) いこいの村涸沼 プール招待券を贈呈



岩瀬営業アドバイザー

寺門支配人

いこいの村涸沼（寺門史格支配人）が、町内の園児および児童に対し、同施設のプール招待券を贈呈しました。

いこいの村涸沼では、涸沼周辺の環境保全による環境教育の機会の提供、利用者の健康増進を目的とした公益目的事業を実施しています。招待券の無償提供は、この取り組みの一環であり、同施設のプールを活用し、町内の園児および児童に広く水泳教育の機会を提供することを目的としています。

招待券は、夏休み期間に使用できるもので、園児および児童1人につき2枚配布されました。

7/19 (日) 安全な横断を願って 小鶴西交差点に横断旗を設置



国道6号の小鶴西交差点の横断歩道に、歩行者のための横断旗と横断旗入れが設置されました。

交通量が多く、日頃から不安の声があった同交差点。少しでも運転者に横断を知らせ、安全に渡れるようにと、小鶴区民の長岡小安全パトロール・萩谷さんの提案により実現しました。

設置にあたっては、茨城町地区交番、小鶴区長、区民、町が協力しました。

早速、黄色い旗を掲げて渡る小学生の姿があり、交通安全の役に立っています。ぜひ皆さまもご活用ください。